

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2371001336		
法人名	医療法人純正会		
事業所名	グループホーム サンハウス荒子 (2Fユニット)		
所在地	愛知県名古屋市中川区高畑二丁目274番地		
自己評価作成日	令和1年12月13日	評価結果市町村受理日	令和2年2月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kazokensaku.nhw.go.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kami=true&JigyosyoCd=2371001336-00&PrefCd=23&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋瑞穂区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	令和1年12月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員は常勤が多く、なじみやすい関係を作りやすい。 近隣の公園の環境に恵まれており、同行散策が楽しめる。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

食事は2ユニットそれぞれ別々のメニューですが、いずれも職員も席について同じものを食していて、また懐メロが静かにBGMとして流れ、穏やかな食事風景が広がる事業所です。誕生日日には「何食べたい?」と尋ねて、本人の好きなお好み焼き、たこ焼き、ノンアルコールビールなどが提供されています。また訪問日の一方のユニットはピンパバでしたが、「快便になるように」ともち米が導入され、野菜嫌いの男性利用者の為に「肉の下に野菜を敷く」ことで食べてもらえていて、利用者のことを考えた工夫がみられました。更にクリスマスとして焼き菓子づくりが得意な職員が米粉でロールケーキを焼くといったサプライズもあり、温かみが伝わります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 0 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 9 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 0 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 0 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 4 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 5 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 0 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 0 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 9 1. 毎日ある <input type="radio"/> 0 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 0 3. たまにある <input type="radio"/> 0 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 0 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 0 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 9 3. たまに <input type="radio"/> 0 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 0 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 4 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 0 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 0 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 0 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 1 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 0 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 0 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 7 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 2 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 0 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 0 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 0 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 0 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 1 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 0 4 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 3 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 5 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 3 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 1 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 0 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 0 8 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 1 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 0 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 0 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 0 8 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 0 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 0 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 0 5 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 4 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 0 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 0 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・理念を共有し実践につなげるよう努めている。 ・理念を共有して実践につなげている。 ・法人の理念をもとに実践している。 ・話し合いをしている。 ・理念を共有している。 ・運営理念は職員が常に目に入るところに掲示し確認しています。 ・職員同士で話し合い、共有していきたい。 ・具体的に大切にしている内容を申し送りしている 以下略	「家庭的な～」ということに留意しています。特に入居したての男性利用者は居室にひきこもる傾向があるため、声かけをおこない「家庭的な団らん」の実現に意識を注ぐとともに、外部評価の自己評価を職員一人ひとりがおこなうことで、其々が理念を振り返っています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	・散歩等を通じ、挨拶を交わすなどして地域との交流に努めている。 ・散歩に出かけたときは積極的に挨拶している。 ・地域行事には参加できるよう計画し、日常的には散歩へ出かけるなどしている。 ・町内の行事などに参加するなどしている。 ・散歩や祭りなど参加出掛けている。 ・散歩や外出等で積極的に地域に出かけ 以下略	散歩は天気がよければ励行しています。その結果利用者個別では週1、2回の外出があり、荒子公園を中心に地域住民と併せて近隣の事業所の皆さんとも挨拶を重ね、また概ね毎月ある円空市、地産地消まつり、梅まつり等の地域行事に出かけています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・運営推進会議などで認知症の人の理解や支援を発信している。 ・活かしている。(4名) ・今まで支援してきた介護方法等、地域に活かせる機会を持ち還元していきたい。 ・デイサービスが同一建物内にあり、その家族や地域の方々から理解を得ている。 ・説明会などを開催している。(2名)		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・テレビモニターを使用した取り組み状況の報告・話し合いを行い、意見をサービス向上に活かすよう努めている。 ・定期的に運営推進会議を行っている。(4名) ・ご家族様・地域の方々との食事会後に会議を行い、気軽に参加できるようにしている。 ・定期的に会議を行い利用状況や原状を報告している。 ・運営推進会議 以下略	元・民生委員だったという、向かいにある自転車屋さんとは常連となり、併設事業所管理者や家族の他、利用者10名前後、職員も7～8名と大所帯での開催です。普段の様子や行事報告とともに、最近では食費の料金変更の説明をおこなったり、避難訓練を併催しています。	透明性の高い運営を鑑み、今後は運営推進会議の中で事故報告をおこなうと、なお良いと思います。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・職員個人ではなく管理者が行っている。 ・取り組んでいる。(4名) ・個人として話す機会はない。 ・入退去者や自己について必ず報告し指示を得ている。 ・市の職員の方に色々協力を頂いている。 ・協力関係に取り組んでいる。	認定調査が他部署となったため、窓口へ行く機会が格段に減っていますが、新規入居に絡み保護係には出向回数が増えています。法人内の居宅介護支援事業所には中川区役所からは随時FAXが届くため、そこから情報を得よう努め、できるだけ研修にも参加しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・取り組むことができている。 ・取り組んでいる。(2名) ・研修に参加し知識を学び実践に活かせるよう取り組みを行っている。 ・身体拘束を行わない取組を研修会等で全職員が理解している。 ・行動制限のないように日頃からさりげなく見守りし安全確保している。 ・身体拘束についての研修を行い、普段から拘束や虐待につ 以下略	身体拘束等適正化対策検討委員会は当初は運営推進会議で実施していましたが、現在は別の日に3ヶ月に1度の頻度で継続しています。スピーチロックは昨年来より課題として外部評価でも上げていますが、本年も引き続き職員のリードがやや強い面が確認されています。	フロアは利用者の家であること、職員は黒子である(自分を出さない)ことが徹底され、おもてなしの姿勢が定着することを期待します(1ユニットのみの課題です)。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・虐待防止について学ぶ機会があり、防止に努めている。 ・防止に努めている。(4名) ・普段から身体拘束や虐待はしないという意識を持っている。 ・ストレスを溜め込まないようコミュニケーションをとっている。(2名) ・職員間でお互いに注意しあい、話し合いを行い状態把握と対応を取っている。 ・言葉遣いや行動を考え、コミュニケーションを		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・学ぶ機会はある。・研修で学んでいる。・活用できるよう学んでいる。・日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持つ。・学ぶ機会を持ちたい。(4名)・勉強会や自己にて調べるなど学べるように努力していきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・自分では行っていない。管理者が行っている。・十分な説明ができるよう努力する。・契約の時には関わっていない。・十分な説明を行っている。(3名)・上司が行っている。・十分な説明をする。色々説明をする。・よくわからない。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・入居者家族の意見や要望を運営に反映できるよう努めている。・改善に努めている。(4名)・反映されるように努めている。・反映させている。・面会の来所の際に会話をすることにより職員で話し合い反映できるよう努力している。	「近況報告」として家族には1ヶ月の様子を書面で届けています。また運営推進会議の後に家族と食事会をおこなう企画もあり、当日急に増えてもいようにカレーや丼もので食卓を囲んでいます。盆踊りや法人本部の歌謡ショーなどに家族も参加しており、孫も一緒に訪れています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・反映してくれていると思う。・反映させている。(2名)・職員の意見がちゃんと伝わっていない時がある。・いつでも意見を言える雰囲気や関係に努めている。・いつでも意見を言える機会を作る。(2名)・上司が行っている。	月1回のモニカン(モニタリングカンファレンス)は夜勤者は30分早出、早番が30分残業して、できるだけ大勢で話し合うように工夫していますが、運営に係る話し合いの場は特段ありません。ただし、随時進言する職員もいる他、年1回の個人面談でも意見は挙がっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・職場の環境は良いと思う。 ・努めている。(5名) ・上司が行っている。 ・無回答		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・研修の機会は多く確保してくれている。・研修を受ける機会がある。(4名)・研修を受ける機会はよくある。・外部研修に積極的に参加する機会がある。・外部研修を行いレベルアップを心掛けている。・研修を受ける機会を確保している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・(グループホーム)同業者との交流はあまりない。・交流できるよう努力する。・取り組みをしている。・(同法人の通所介護、有料老人ホームと)定期的に行われている。(4名)・向上できるよう努力している。・勉強会などでサービスの向上をさせていく取り組みをしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・努めている。(3名)・安心して暮らせるように関係作りに努めている。・本人の意思の尊重を元に信頼できる関係作りに努めている。・支援している。(2名)・事前に得た情報を職員で共有し、関係作りに努めている。・信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・努めている(3名)・関係作りに努力している。・支援している。(2名)・担当の職員が事前に訪問し、本人や家族の意見に耳を傾ける努力をしている。・良好な関係作りを心がけている。・関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・努めている(4名)・コミュニケーションをとっている。(2名)・話し合っている。・本人や家族の現状を把握し、他事業所とも連携を図り良好な関係を築けるよう努力する。・多くの情報を得るようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・生活リハビリへの参加を通じて関係を築けるよう努めている。・関係を築いている。(3名)・築けるよう支援している。・話し合いをしている。・できる事はご自身で行っていただき、職員と近い関係が築けるよう努力していく。・何かをするときには相談するようにしている。・コミュニケーションをとり関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・支えられるよう努めている。・関係を築いていけるよう努力している。・関係を築いている。(4名)・多くの人とコミュニケーションをとっている。・毎月の便りや面会の際の会話にてコミュニケーションが取れるよう努力している。・コミュニケーションが多くなるように働きかけている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・家族やなじみの人が気持ちよく面会に来ていただけるよう対応している。・努めている。(6名)・支援に努めている。・本人が大切にしてきた思いを大事にし、支援していけるよう努力する。	季節のものの入れ替えや買って来て欲しいものをお願いすることで、家族の来所を増やしています。物をつくるのが好きな人にはクラフト作品をおこなってもらったり、家事を手伝ってもらったりと、本人のADLと意向に副って「やってみる？」と声をかけています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・入居者同士の会話が楽しめるよう、間に入る努力をしている。・努めている。(4名)・関係や性格を把握し、関わりを持てるよう努めている。・利用者の特徴を把握し、座席の配置を考え、楽しく会話できる場を提供し、関係作りに配慮している。・会話をしやすい利用者さん同士を近くの席になるよう配慮していく。・支援に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・管理者が行っている。・相談があれば支援に努める。・努めている。・本人の意見を考慮して希望に沿えるように努力していく。・機会があれば面会などを行っている。・無回答・わからない(4名)		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・把握に努め本人本位に検討している。・努めている。(5名)・本人らしさが出るよう支援している。・本人および家族との話し合いの中で必要な支援を検討していく。・日常生活の中での本人の思いや意向を確認する。	病院で褥瘡もできてしまい、ベッドからの転落も心配される利用者のベッドに4点柵を取り付けることとなり3要件に係るとして取組み(現在は解除している)、本人の落ち着きが増した事もあり、意向が確認できない場合でも環境を整えることで好転した例もあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・モニタリング、アセスメントを活用し把握に努めている。・努めている(4名)・家族や本人からの聞き取りなどを行い、把握に努めている。・ご家族や面会の知り合いの方からお聞きしている。・事前に本人・家族から生活歴を確認し、アセスメントシートに記入している。・これまでの生活を確認する。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・一日中居室のベッドで臥床している入居者に対し、本人の精神的負担にならないよう配慮して声かけを行っている。・努めている(5名)・日々の生活の中から本人の思いに共感し、さりげない支援に努めている。・本人の心身の状態をきちんと観察・把握してその現状に合ったサービスを提供できるよう努力している。・現状 以下略		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ご家族との話し合いが困難な事情の人もあるが、職員の意見等を反映できるよう努めている。・話し合いをしている。・チームで共有し話し合いを行っている。・ご本人、ご家族の意向をお聞きしている。・取り組んでいる。・日々の生活状況の中からも支援方法を考え見直しも行っている。・カンファレンスの場で職員同士で 以下略	各ユニットの計画作成担当者がほぼ全職員が集うモニカンを通じてモニタリングシートをまとめサービス内容の素案をつくることで、「チームでつくる」につなげ、素案の添削を介護支援専門員がおこない、介護計画が作成されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・おおむねできていると気づく。・活かしている。・朝夕の申し送りや気付いたときに他のスタッフに相談したり連絡ノートに記載して活かしている。・プランの実施記録や申し送りノートの内容を共有している。(4名)・プランの見直しを意識し、現状にあった介護計画を作成するよう努力している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・あまり理解できていない。・努力している。(2名)・取り組んでいる。(2名)・自施設内だけではなく他の施設との交流や地元の会に参加している。(2名)・支援方法について話し合っている。・本人の希望に沿えるようコミュニケーションを大事にしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	援に努めている。・地域の行事に参加している。・努めている。・支援している。(3名)・ボランティアの受け入れを図っている。・本人の意思を尊重し、豊かな暮らしができるよう支援している。・施設の行事を案内し地域の方に参加していただく。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・毎週の訪問看護、隔週の訪問診療、随時の訪問歯科を利用できるよう支援している。・支援している。(3名)・入居前からの専門医受診を継続できるよう支援している。(2名)・医療機関受診や急変時の救急付添はご家族が対応するが、事情のある時には施設スタッフが行う時もある。・受診の際必要性があればスタッフ 以下略	現在17名が月2回の訪問診療をおこなう協力医に変更しています。入院を経て入所した利用者が担当医の指導から(ターミナル直前との見立て)1ヶ月に1度管理者が受診支援していますが、他の医療は家族に付き添いをお願いしています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・訪問診療医師や訪問看護師に相談・報告を行っている。・相談・支援をしている。(2名)・毎日のバイタルサイン測定や日常生活の中での変化を相談し指示を得ている。・気になったことは医療職に相談し、処置・受診の指示を受けている。(2名)・毎週ほぼ火曜に訪問看護があり、処置の方法や受診の必要性の相談をし 以下略		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・退院時サマリーを活用し、病院の看護師に相談・質問をしている。・関係づくりを行っている、努めている。(6名)・他のスタッフと一緒に医療職から対応や注意事項を聞き実施している。・病院関係者との情報交換に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・話し合いの場合は管理者が中心と行っており、日々の状況変化はスタッフが医療職に報告し指示を得ている。・取り組んでいる。(7名)・本人・家族の意見を尊重し、終末期を過ごせるよう支援している。	看取り実績はありませんが、望まれた場合には取り組むこととしていますが、本人が苦しむような症状のときは難しいことを家族に理解してもらっています。延命治療の意向は状況によって変わるためまずは第一段階の書面をとり、医師の勧めがあったとき改めて作成することとしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・職場での具体的な訓練は不定期だが行われている。・対応できるようにしている。・努めてはいるが不安はある。・急変時・事故発生時の対応の訓練や研修を受ける機会がある。(4名)・スタッフ間で応急手当の話し合いをしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・防災訓練を行っている。(4名) ・よくわからない。(2名) ・訓練を行いその場に合った対応ができるよう努力している。 ・地域と協力したい。	非難誘導訓練を2回おこなっていますが、消防署への計画は提出されていません。6~7日の備蓄とともに、10kgの米袋が各ユニット毎に置かれるとともに日々の食事でのローリングストックは十分あり、総じて10日分程になります。	「全職員が水消火器を体験する」といった具体的な目標をもつこと、来期は消防署へ計画を提出することを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・努めている。・気をつけている。・配慮し対応している。・プライバシーに配慮した対応に心がけており、トイレの際などの声かけに注意している。・プライバシーに配慮した対応に心がけている。・配慮した言葉かけなどを心掛けている。・一人一人を尊重した言葉使いや接し方をしている。(3名)	個人情報保護に係る整備を前回の課題としていましたが、家族の同意を得るよう書面及び仕組みをつくり、是正しています。ただし、昨年の指摘事項として職員の感情的かつ暴言的なスピーチロックが挙がっており、回数は減ったとはいえ抜本的な是正には至っていません。	介護職自身が自らの適性を省みるチェックシートや話し合う場を設けることを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・手作業などに取り組む際にご自分の意見や希望を言えるような働きかけをしている。・働きかけている。(3名)・ご自分で意思決定ができるよう選択肢や見て選べるような働きかけをしている。・日常会話の中から本人の希望を確認している。・本人の希望を尊重できるよう働きかけている。・本人の希望がかなえられるよう 以下略		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・当日の行事などの関係で入浴を中止することがある。・支援している。(3名)・折込チラシの前に買い物予定を一緒にたてるなどしている。・仕草や行動を見極め、個々に合った生活への思いを察するよう配慮して。・本人の意見を聴き、その方のペースを大切に希望に添えるようにしている。・個別の予定をホワイ 以下略		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・特に女性に対し、入浴後や起床時の身だしなみに気を配っている。・声かけや介助で支援している。・自己選択のため入浴後の衣類選びや訪問理美容時の本人の希望を大切にしている。・身だしなみの時には鏡の前に誘導して整えてもらっている。・定期的な訪問理美容。居室内の鏡の前で身だしなみの声かけや介助。・ 以下略		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・行事食や誕生日のケーキで楽しめるよう努めている。後片付けの食器拭きへの参加も勤めている。・お盆拭きや食器拭きのお手伝いへの参加を勤めている。・できることを行ってもらっている。・食べたいものを聞いて食事作りにも参加してもらっている。(2名)・できることは他の入居者やスタッフと一緒にしている。・できる 以下略	食事はユニット其々別々のメニューですが、いずれも職員も席について同じものを食っていて、また懐メロが静かにBGMとして流れ、穏やかな食事風景です。誕生日月には「何食べたい？」と尋ねて、本人の好きなお好み焼き、たこ焼き、ノンアルコールビールなどが提供されています。	検食ノートにより、献立や調理方法などがさらに向上することを期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・水分摂取不足に注意した声かけを行っている。その人に応じた食事量と形態で対応している。・支援している。(5名)・個々の状態を把握し、その方が食べやすい工夫をしている。(2名)・食べる量や栄養、水分量などその人に合わせて考え支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・起床時と就寝前に口腔ケアを行っている。(2名)・行っている。・夕食後に義歯洗浄を行っている。(3名)・全員に声かけし歯磨きを行っている。義歯の洗浄消毒の支援をしている。・朝夕の口腔ケア、夕食後の義歯洗浄。・本人の力に合わせた口腔ケアをしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・介助が必要な方で、夜勤一人体制では危険な場合以外はトイレでの排泄支援を行っている。・排泄チェック表を用い、排泄パターンを把握して支援している。(3名)・支援している。・気持ちよく排泄し過ぎていただけたらという支援している。・個々の排泄パターンに合わせて声かけをしている。(3名)	排泄チェック表をつけ、本人のリズムを把握して声掛けをおこなっています。トイレトペーパーを必要以上に使いすぎてしまう男性利用者のために、蒔き直して小さくする作業を90を越えた女性利用者がおこなっているとの微笑ましいエピソードもあります。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・食事の工夫や毎朝の体操への取り組みを行っている。・便秘予防に取り組んでいる。(5名)・朝食時にヨーグルトやバナナを提供するなどの工夫をしている。・排便チェックを行い、個々に応じた支援を行う。・他スタッフと相談し個々に応じた支援を心掛けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	・入浴の曜日は原則的に決めてはありますが、その方の状態に対応し、入浴順を変更するなどの工夫をしている。・支援している。(2名)・普段は午後の入浴を午前にするなど臨機応変の対応をしている。・本人の希望や入浴タイミングを大事にしている。・入浴に拒否があっても声かけや時間を変更するなどの工夫をしている。・湯 以下略	入浴は13時半からと決めています。状態に応じての変更も臨機としています。脱衣スペース、浴室、浴槽ともに狭小のため2人介助は難しく、またげなくなったらシャワー浴としています。日常的には浴剤を使い、時節に合わせて菖蒲湯や柚子湯も取り入れています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・日中の休息の時間は、夜間の睡眠に影響しないように配慮している。・支援している。(5名)・個々の習慣に合わせて休んでいただいている。(2名)・気持ちよく休めるよう寝具・室温に配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・チェック表を必ず確認し、服薬前後の変化の有無を確認し、異状があれば主治医に報告している。・努めている。(3名)・服薬時には飲み込むまでを確認し、服薬忘れがないようにしている。・服薬確認を行っている。・個々の服薬状況を理解し、飲み忘れがないよう努めている。・わかりやすく表示し理解に努めている。・(服薬 以下略		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・生活リハビリに参加することにより、役割感を得ていただく。外出散歩などで気分転換が図られるよう支援している。・努めている。(4名)・支援している。・個別のコミュニケーションを大事にし、歌や散歩などで気分転換が図られるようにする。・その人に合った役割や、嗜好(コーヒー等)を楽しむことができるよう支援する。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	・個々の希望に沿った場所への外出は容易ではないので、散歩やボランティアショーの鑑賞を通じて楽しみが持てるよう支援している。・支援に努めている。(4名)・支援している。・催し物などの情報を提供し、個々の希望に沿った外出をしている。・おむね希望に沿った外出ができています。・可能な限り近隣公園での散歩を行 以下略	好天日に慣行されている周辺散策、積極的な地域行事参加のほかに、近隣のスーパーマーケットなどのフードコートや外食チェーンにも足を延ばしています。家族と喫茶店でぜんざいを食べたり、家族が迎えにきて法事にでかける人もいます。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・金銭管理の問題で入居者は現金を所持していない。・金銭が必要な時には必要に応じ支援している。・よくわからない。・個別に必要な物品をスタッフ付き添いで買い物し、施設立替払いとすることがある。(4名)・できるように支援している。(2名)		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・現状では手紙のやり取りの希望がないため行っていないが、携帯電話を所持している方はいる。・要望があれば支援する。(6名)・家族や知人からの電話の取次ぎをしている。(2名)		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・季節感のある壁画作り、ペランダのプランターでの野菜作りなど、生活や季節を感じられる工夫をしている。・工夫をしている。(3名)・季節ごとに共有空間の飾りを替え、季節が分かりやすくなるような工夫をしている。・居心地のよい空間作りに努めている。・日中を快適に過ごせるよう、清掃や花を飾るなど居心地のよい 以下略	クリスマスツリーの壁画に飾りつけるどんぐりをマニキュアで塗ったりと、皆で取組んだ作品がフロアに連なっていて、雪だるまに見立てて大きな柚子に普通サイズの柚子を載せたオブジェは、後に浴槽に浮かぶこととなっています。	(職員だけが原因ではなく、1名の利用者の問題行動もあると聞いており、難しいこととは思いますが…)利用者への関わりが異なることで2つのユニットの雰囲気や利用者の様子に差があることについて、何らかの取組みがあることを期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・リビング内に会話ができる場所や一人で新聞を読んで過ごせる場所を工夫している。・工夫をしている。(4名)・気の合う方と話し楽しい時間を過ごせるようにしている。・ソファで会話を楽しめるよう支援している。・個別に居場所作りに配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入居時になじみのものを持ち込んでいたくなど工夫をしている。・工夫している。心がけている。(4名)・居室内になじみの物や写真を配置し、安全を配慮した行動スペースを確保している。・居心地よく暮らせるよう支援している。(2名)・使い慣れたものを持ち込んでいただいている。	各ユニット和室が2部屋あり、和洋いずれもエアコン、クローゼット、ベッド、洗面台が予め備わっています。テレビを持ちこんでいる人も少なくありませんが、概ねリビングで皆と一緒にTV鑑賞していて、使ってはいません。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・自分でできることは行なっていただいている。 ・工夫している。心がけている。(5名) ・安全な環境作りに心がけている。(2名) ・個々にできることを見つけ生活改善ができるよう取り組んでいる。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2371001336	
法人名	医療法人純正会	
事業所名	グループホーム サンハウス荒子 (3Fユニット)	
所在地	愛知県名古屋市中川区高畑二丁目274番地	
自己評価作成日	令和1年12月13日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kazokensaku.nhlw.go.jp/Z3/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kami=true&JigyosyoCd=2371001336-00&PrefCd=23&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室	
所在地	愛知県名古屋市長区本願寺町2丁目74番地	
訪問調査日	令和1年12月25日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員は常勤が多く、なじみやすい関係を作りやすい。 近隣の公園の環境に恵まれており、同行散策が楽しめる。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

食事は2ユニットそれぞれ別々のメニューですが、いずれも職員も席について同じものを食していて、また懐メロが静かにBGMとして流れ、穏やかな食事風景が広がる事業所です。誕生日日には「何食べたい?」と尋ねて、本人の好きなお好み焼き、たこ焼き、ノンアルコールビールなどが提供されています。また訪問日の一方のユニットはピンパバでしたが、「快便になるように」ともち米が導入され、野菜嫌いの男性利用者の為に「肉の下に野菜を敷く」ことで食べてもらえていて、利用者のことを考えた工夫がみられました。更にクリスマスとして焼き菓子づくりが得意な職員が米粉でロールケーキを焼くといったサプライズもあり、温かみが伝わります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 7 1. ほぼ全ての利用者の 1 2. 利用者の2/3くらい 0 3. 利用者の1/3くらい 0 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	3 1. ほぼ全ての家族と ○ 5 2. 家族の2/3くらいと 0 3. 家族の1/3くらいと 0 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 5 1. 毎日ある 2 2. 数日に1回程度ある 1 3. たまにある 0 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0 1. ほぼ毎日のように 0 2. 数日に1回程度 ○ 8 3. たまに 0 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 6 1. ほぼ全ての利用者が 2 2. 利用者の2/3くらいが 0 3. 利用者の1/3くらいが 0 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	0 1. 大いに増えている ○ 6 2. 少しずつ増えている 2 3. あまり増えていない 0 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 4 1. ほぼ全ての利用者が 2 2. 利用者の2/3くらいが 0 3. 利用者の1/3くらいが 0 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 6 1. ほぼ全ての職員が 1 2. 職員の2/3くらいが 1 3. 職員の1/3くらいが 0 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 0 1. ほぼ全ての利用者が 2 2. 利用者の2/3くらいが 0 3. 利用者の1/3くらいが 0 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	4 1. ほぼ全ての利用者が ○ 4 2. 利用者の2/3くらいが 0 3. 利用者の1/3くらいが 0 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 7 1. ほぼ全ての利用者が 0 2. 利用者の2/3くらいが 1 3. 利用者の1/3くらいが 0 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 5 1. ほぼ全ての家族等が 3 2. 家族等の2/3くらいが 0 3. 家族等の1/3くらいが 0 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 6 1. ほぼ全ての利用者が 2 2. 利用者の2/3くらいが 0 3. 利用者の1/3くらいが 0 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・共有している。頭に入れて仕事に入っている。 ・理念に基づいた支援をしている。 ・実践につなげようと努力している。(4名) ・実践につなげている。(2名)		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	・交流している。散歩時の挨拶をしっかりと行っている。・理美容・ボランティア来所。地域の方に挨拶。・できていない。・日常的には交流できていない。(3名)・努力している。・管理者が行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・活かしている。管理者が行っている。(6名) ・入居者の家族と話をしている。 ・努力している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・管理者が行っている。 ・定期的に開催し、地域の方にも参加いただいている。 ・活かしている。(2名) ・定期的に行っている。(4名)		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・取り組んでいる。(2名) ・管理者が行っている。(7名)		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・ミーティングを行っている。定期的に勉強会を行っている。・建物玄関の施錠はせず開放されている。ユニットの出入り口は階段付近のため転落の危険があり、普段施錠している。家族の了承は得ている。(4名)・行っている。・取り組んでいる。・努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・ミーティングを行っている。定期的に勉強会を行っている。 ・努めている。(5名) ・注意を払い防止に努めている。(2名)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・ありません ・研修等積極的に参加している。(5名) ・行うよう努力している。 ・支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・上司が十分な説明を行い、理解・納得を図っている。 ・管理者がしている。(5名) ・管理者・リーダーが行っている。(2名)		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・ありません ・定期的に家族会を開催している。 ・管理者が行っている。(4名) ・管理者が行い反映させている。 ・管理者・リーダーが行っている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・聞く機会がない。 ・定期的に行っている。(2名) ・年に1回は行われている。 ・定期的に面談を行っている。(3名) ・面談を行いそのような時間を作っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・努めている。(3名) ・職場の環境を整えている。 ・管理者が行っている。 ・ある程度されている。 ・努めていると思う。 ・職場環境が整っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・進められている。研修を受ける機会が多い。 ・取り組まれており、研修に合わせたシフトが作られている。 ・機会が与えられ、研修費用の支援や出勤扱いとなっている。 ・研修の機会、費用の補助がされている。 ・管理者が行っている。 ・行っている。 ・取り組まれている。 ・希望の研修に行く専任で来ている。 ・研修自費負担の少ない研修の機会が多い。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・している。 ・研修や(他事業所のヘルプの実習)応援などで交流している。 ・管理者が行っている。 ・ある程度されている。 ・勉強会を行ったり研修で交流などがあり取り組まれていると思う。 ・研修の機会を作り、サービスの向上に取り組んでいる。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・しっかりと本人様のお話を聞き、安心していただけるよう努めている。・傾聴をし、コミュニケーションをとるよう努めている。・努めている。(4名)・コミュニケーションをこまめにとり、関係作りに努めている。・利用者に耳を傾けコミュニケーションを図り細かく取り組んでいる		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・ミーティングで話し合っている。・知りえた情報は共有するなどして努めている。・努めている。(4名)・面会時などに家族から聞いた要望はすぐにリーダーや管理者に伝え、信頼関係を作るようにしている。・家族から要望を聞き取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・ミーティングで話し合っている。 ・前もって情報を得る努力をしている。 ・管理者が行っている。 ・管理者・リーダーが行っている。(2名) ・対応に努めている。(3名)		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・築いている。・入居者同士の関わりを大事にし、気付くようにしている。・できる事は自分でしていただき、お手伝いをするという姿勢を持つ。・できる事は自分で、できないことを介助し、お手伝いの機会を通じ暮らしを共有するようにしている。・行っている。・努力している。・裁縫の得意な方に他者のほころび		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・ひとりひとりを尊重し寄り添っていると思う。・毎月、ホームでの様子や写真を郵送や手渡しをしている。・家族との外出を薦めている。・毎月の近居報告を送り、共に支えていく関係を作っている。(2名)・築いている。・築いていると思う。・努力している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・毎月1回面会をしていた知人の訪問がなくなった方がいるが本人には聞けずにいる。・努めている。(2名)・ご友人の面会等で支援している。・ご友人の面会や電話など取り次ぎ、関係が途切れないよう支援している。(2名)・自分はあまりできていない。・面会者の対応やお話が進むような支援に努めている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員一人一人が把握しミーティング等で話し合っている。・トラブルがあれば席替えを提案するなどして努めている。・好き嫌いはあって当然なので諍いに至らないように支援している。・入居者同士の相性を考えて配席し、日々の生活でトラブルにならないよう気を付けている。・努めている。(2名)・度替え時の		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・上司(管理者)が相談・支援に努めている。 ・あまり経験がない。 ・入院先にお見舞いで訪問している。 ・原状では特に行っていないが、相談があれば支援する。(5名)		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・上司(管理者)が行っている。 ・本人の希望を聞き検討している。 ・努力し行っている。(3名) ・希望や意向の把握に努めている。(2名) ・個別のミーティングを行い検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・上司(管理者)が行っている。 ・家族の面会時に情報を得るようにしている。 ・努めている。(4名) ・個人ファイルの内容を理解し把握できるように努めている。(2名)		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・観察をし、様子に異常を感じたら本人に尋ねるようにしている。 ・把握に努めている。(6名) ・日々の生活の観察を通じ把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・毎月のミーティングで話し合いをし、計画作成担当者が作成している。・毎月フロアスタッフと管理者でモニタリングカンファレンスを実施し、出席できないスタッフには予め話を聞いている。(4名)・作成に協力している。(3名)		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・活かしている。(2名) ・できている。行っている。努めている。(4名) ・ミーティングで情報を共有し、申し送り、日誌等に記入し見直しに活かしている。 ・情報を共有しながら話し合いをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・上司(管理者)が取り組んでいる。 ・取り組んでいる。行っている。努力している。(5名) ・できる限りニーズに対応するように取り組んでいる。(2名)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・ボランティアの業所により、歌・マンツク・踊りで楽しめる機会を設けている。・ボランティアによるレクリエーションや理美容。・他の事業所と連携しボランティア活動に参加できるようにしている。・定期的なボランティアを通じて楽しんでいただけるようにしている。・支援し努力している。(3名)・定期的に楽しむこと		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・支援している。(3名) ・行っている。(4名) ・努力している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・支援し、訪問看護師に伝えている。 ・隔週の訪問診療、毎週の訪問看護の際に、特変があれば伝え指示を得ている。 ・行っている。(2名) ・支援している。(4名)		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・上司(管理者)が行っている。(6名) ・管理者やリーダーが行っている。(2名)		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・自分は実際に関わったことがない。 ・取り組んでいる。(3名) ・管理者が行っている。(2名) ・管理者やリーダーが行っている。(2名)		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・マニュアルに沿って行っている。(2名) ・研修等で身につけている。(3名) ・努力している。 ・今までの経験である程度身につけている。 ・身につけており実践できる。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・定期的に避難訓練をし身につけている。(3名) ・行っている。できている。(3名) ・いざとなると不安である。 ・マニュアルがあり、全員身につけている。訓練も行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・対応をしている。(8名) ・打合せ時に個人名を呼ばない、自尊心に配慮などの工夫をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・ワーカーに相談する。・入居者の思いを聞くように努めている。・働きかけている。行っている。(3名)・日々コミュニケーションをとり、入居者から何でも言いやすい雰囲気を作るようにしている。・できるだけ本人の希望に添えるよう、自分で決められる時にはそうしていただいている。・声かけなどのコミュニケー		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・可能な限り希望に沿いたいとは思いが難しい状況もある。 ・できる限り行っている。(5名) ・行っている。 ・その方のペースに合った生活になるような努力はしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・隔月の訪問理美容を気分よく利用していただいている。 ・可能な方には入浴時に服を選んでもらうなどして支援している。 ・できる限り支援している。(3名) ・支援している。(2名) ・本人の好みに合うよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事づくりや盛り付けの手伝いをしてもらっている。・盛り付け・下膳・食器拭きなどをスタッフと一緒にしている。スタッフは3食とも入居者と一緒に食べている。・行っている。(5名)・できるだけ手作りに努め、楽しみながら作ったり、状態に合わせた後片づけに参加していただいている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・声かけ支援をしている。・水分制限のある方や、水分を取りたがらない方の記録をし、適切な水分摂取ができるよう支援をしている。・行っている。支援している。(5名)・個々に合わせた食事や水分を提供している。摂食・飲水量に変化がみられた時は都度対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・起床時・就寝前に見守りをおこなっている。 ・起床後食事前に口腔内を清潔にし、感染予防に努めている。 ・口腔ケアを行っている。(5名) ・本人の能力に応じた口腔ケア(声かけ・介助)を行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・失禁につながらないように声かけをしを行っている。・24時間で記録された排泄チェック表を活用し個々のパターンに応じた声かけ・誘導をしている。・行っている。(5名)・介助の必要な方には日中は二人介助でトイレでの排泄ができるようにしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・献立検討時に繊維の多い食材やヨーグルト・バナナなどを活用している。・毎朝の運動を取り入れ、排便記録を確認しつつ便秘が防止できるよう支援している。・取り組んでいる。(5名)・排便パターンを確認し、個々に応じた予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	・介助・見守りの関係で、1日おきの入浴で個々の時間も決まっている。(2名)・時間は13時15分から。各人週3回の入浴機会。・できる限り個々に合わせた支援のため、希望や入浴タイミングが叶うような声かけをしている。(4名)・入浴時間は決めてあり、納得できるような声かけや説明をしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・声かけをし支援している。・座位の保持が難しい方や足に浮腫みのある方には、スタッフで検討した休憩時間が取れるよう支援している。移動・歩行に問題のない方は自分の判断で休憩をとることができている。・行っている。支援している。(4名)・安心して眠れるように努めている。・状態を見て対応し支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬介助時には本人への確認を始め、誤薬が起らないよう気をつけている。・処方時の薬剤情報の内容を確認し、不明な時には理解できるまで調べている。・努めている。(4名)・服薬後に体調に変化がないか注意している。・服薬の支援と服薬後の症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・猛暑や寒冷のための機会は少なくなっているが、外出散歩で気分転換を図れるよう支援する。・歌の会やおやつ作りを実施している。・支援している。行っている。(3名)・可能な限り行うよう努めている。・それぞれ思いや考え方が違うので個々に合った支援をするよう努めている。・可能な方には塗り絵・縫物・		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	・天候・行事などの諸事情から希望しにくい外出や、本人が思う目的地に行けないことは多いが、戸外に出られるよう支援している。(2名)・気候を見て可能な方は近隣公園のウォーキングを楽しむことができている。・本人の希望通りにはできない事が多い。(2名)・支援している。努力している。(2名)・状		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・行っていない。(4名)・施設立替で対応し、個別の現金所持はない。・わからない。・希望により行い、紛失した事例があった為現在は行っていない。・個別にお金を使う必要がない仕組みになっている。レクリエーションとしての買い物は検討したい。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・行っていない。(3名)・支援はしている。・手紙を出したいという要望には個別に支援している。・わからない。・要望があれば支援する。・個別に対応したい。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・共用トイレを長く使い他入居者が不便になりそうな時の声かけや、電球切れ、床濡れに常に配慮している。壁に季節感のある花飾りをしている。・トイレや浴室、居室が分かりやすい掲示をし工夫している。・行っている。工夫している。努力している。(6名)		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・フロア内の配席の組み合わせに工夫している。 ・利用者間でトラブルがあった時にはその都度対応している。 ・工夫している。行っている。(6名)		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・工夫できている。(7名) ・ご家族の面会時に相談しながら行っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・掃除をしてもらう時に掃除機のコードが足にかからないよう声かけをしている。 ・工夫している。できている。(7名)		